

レーザーで道路位置示す

中大実業のビーコンライナー

吹雪など視界不良対策に

中大実業(本社・札幌)は、通行中の濃霧や吹雪など視界不良対策に「ビーコンライナー」を提案している。レーザー光で長さ20mのラインを路面に映し出し、ドライバーに路肩の道路位置を示す視線誘導標。矢羽根の補助的な役割を果たし、同じ支柱に取り付けられるほか、配線工事が不要なため導入しやすい。稚内や倶知安など道内6カ所でのフィールド試験で効果を確認。来シーズンに向け、広く使ってもらいたい考えだ。

・(大阪)が開発・製造。北海道は大宮ホーロー北海道製作所(同・札幌)が総代理店となっており、中大実業は販売店として普及に努めている。矢羽根が付いている支柱に取り付け金具を用いて設置する。レーザー光の角度や範囲は出荷時に工場での調整済み。規定の位置に機器を設置すれば現場で再調整する必要はない。商用電源から独立した太陽電池のため、電気工事や配線埋設の手間がかからない。既存の矢羽根と同様に昼夜を問わず常時点灯するため、日々の管理は不要だ。視界の良いたまは控え、目には見えませんが、雪や雨で運転条件が悪くなるときの目に見える。レーザー光は道路の外側線を示す。路肩に長さ20mのグリーンラインを描く。

照らす仕組みで、除雪作業の目印としても有効になる。地吹雪や霧、豪雨など視界不良時は、緑色のラインが壁のように浮かび上がり、道路線形の視認性を高める。フロントガラスに雪が舞い上がり自身の走行ラインが分かりづらい状況でも、長さ20mの光が車両左側に映し出されることから、対向車線に向かうなどの危険を回避しやすい。

衝突軽減技術を装備

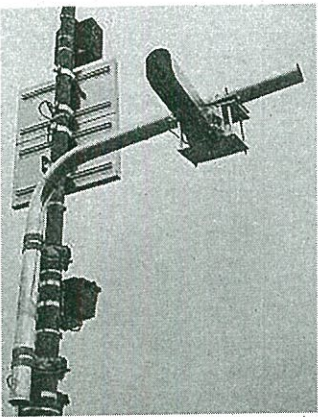
トヨタがダイナなど一部改良



トヨタ自動車は、ダイナと2ト積み系のトヨエースを一部改良し、5月7日に発売する。衝突軽減に寄与するインテリジエントクリアランスソナーなどの安全技術を標準装備する。

シャープ K液晶パネル トローラー イスプレイト AD」を発売型と75V型サイズを投の4K化を4K液晶し、微細な地図のほか

システムはレーザー発振器と太陽光パネル、蓄電池などで構成。レーザー光を路面に照射し、緑色のラインを映し出して道路位置を示す。指向性



既設の矢羽根の支柱に取り付けて使用する



中大実業の桑原直樹開発部課長は「北海道は直線道路が多く走りやすい反面、冬場は吹雪などの危険に見舞われることも少なくない。矢羽根の補助としてビーコンライナーを使ってもらえれば」と話している。

超スマート社会目指す

19年度の重点施策 情報基盤整備を促進

道総合通信局

0.8以下(3カ年の平均値)または条件不利地域の普通地方公共団体・第三セクターを対象に、無線アクセス装置や電源設備などの必要整備費の半額を負担して補助する。

18年度は229号せたな町の新美谷トンネル、5号小樽市の長橋トンネル、393号倶知安町の樺立トンネルで実施した。地域でのIoT実装推進では、オープンデータ

盗難被害撲滅へ

職人さんドットコムの 工具防犯登録マガジン

職人さんドットコム一周年記念。工具をシヨツ

号と所有者し、所有者をスマートソコンで確認。電動ザイ測定器の盗難を防